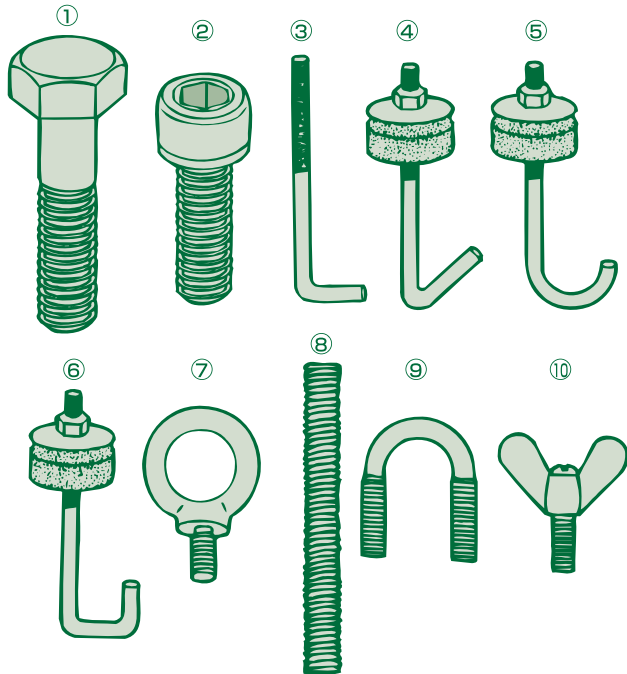


# ボルトの種類と使い方

- ①六角ボルト  
ナットとセットで建築、電機、自動車等広い用途に使われています。
- ②六角穴付ボルト  
頭部に六角棒レンチで回せるように六角の穴があいていて、強い締めつけができるので、機械や電気部品に使われています。
- ③アンカーボルト  
建築の土台の基礎の締めつけに使われています。
- ④フックボルト  
波板をアングルの骨組に取りつけるときに使います。
- ⑤パイプボルト  
波板をパイプの骨組に取りつけるときに使います。
- ⑥チャンネルボルト  
波板をC型チャンネルに取りつけるときに使います。
- ⑦アイボルト  
機械や船舶用によく使われます。
- ⑧全ネジボルト  
胴全体にネジが切ってあるボルトで、片方をコンクリートに埋めたりして使います。
- ⑨Uボルト  
パイプを止めるときに使います。
- ⑩蝶ボルト  
手で締めつけることができるボルトです。



## ここがポイント!

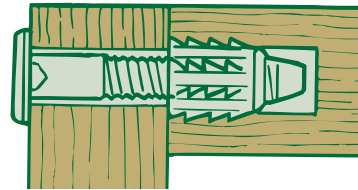
### ノックダウン方式の接合金物 —ボロニアジョイント—

棚やキャビネットを作る時はクギや木ネジの代わりに、ノックダウン方式の接合金物を使うと、分解と組立てが何回もできます。

- ①取りつける穴にドリルで穴をあけます。オメガナットの径より小さいドリル径で穴をあけて、オメガナットを打ちこみます。



- ②片方の木部にジョイントボルト径より少し大きめのドリル径で穴をあけ、ジョイントボルトをオメガナットにねじこんでいきます。



### サービスのご案内

●下記クレジットカードがご利用できます

配送	切り売り商品	修理	
返品・交換	表札・額の受注	スベアキーづくり	<input type="checkbox"/> はギフト券もご利用いただけます



制作発行/株式会社セキチュー 販売促進課  
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1  
TEL.027-345-1111(大代表)

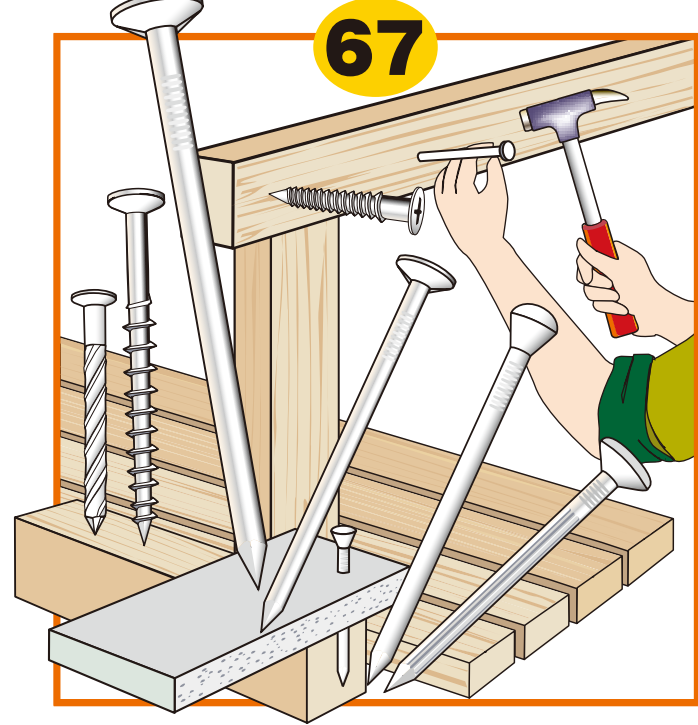
©無断転載は禁止します

## 快適な住まいづくりのお手伝い

# クギ・ネジ・ボルトの種類

### 自分でやってみよう!

## セキチュー How To D.I.Y




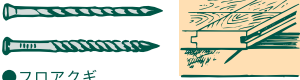
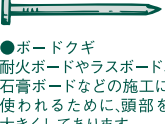



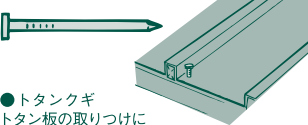



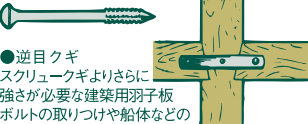
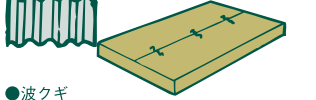




クギやネジは接合金物の基本中の基本ですが、材料にそれぞれ合った接合金物がありますので、一番適しているものを選んでください。どのような種類があって、こういったときに使うものかを例を上げて紹介しましょう。

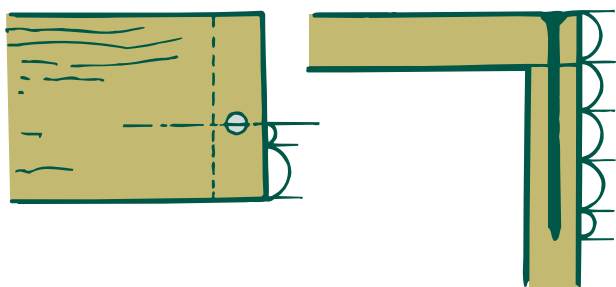
Do it Yourself & Save

# クギ・ネジの種類と使い方

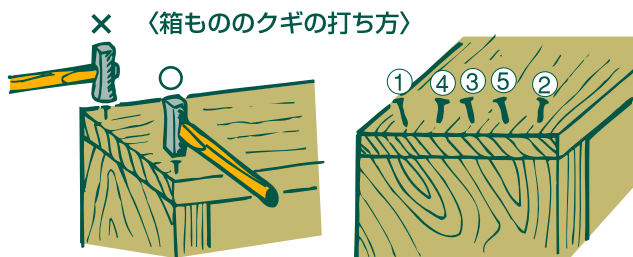
## クギ

 <p>●鉄丸クギ 一般的なクギで、軟鉄でできています。</p>	 <p>●特殊クギ ステンレス、真鍮(しんちゆう)、銅製があります。</p>	 <p>●コンクリートクギ コンクリートやブロック、チーク材等へのパイプ、鉄板、木材、電気器具、サッシなどの取りつけに使用します。</p>	 <p>●フロアクギ 床板の隠しクギに使われるので、頭部にポンチ穴があいています。サビないようにメッキ処理をしています。</p>
 <p>●ボードクギ 耐火ボードやラスボード、石膏ボードなどの施工に使われるために、頭部を大きくしてあります。</p>	 <p>●リングクギ 天井の野縁へのボード下地の取り付けや合板の浮き上がり防止などに使われています。</p>	 <p>●ケーシングクギ 頭が小さく、材料の表面に埋めこめるので、ハードボードやフレキシブルボード、合板、プリント合板、レールなどの取り付けに使われています。</p>	 <p>●大平頭クギ 頭が平らで大きいので、木毛セメント板、ルーフィングペーパーの取り付けなどに使われています。</p>
 <p>●トタンクギ トタン板の取り付けに使われる頭が平らで大きいクギです。</p>	 <p>●傘クギ 波板の取り付けに使われる、頭部に傘がセットしているクギです。</p>	 <p>●スレートクギ 亀座金、ウールバックンを利用して、雨漏りのないように屋根や下見などのスレートや鉄板に使います。</p>	 <p>●スクリュークギ 胴をネジのように加工したもので、パレットの製造や重量梱包材、木材建築の骨組みなど強さが必要な接合部分や振動するところに使います。</p>
 <p>●逆目クギ スクリュークギよりさらに強さが必要な建築用羽子板ボルトの取り付けや船体などの接合部分に使います。</p>	 <p>●波クギ 板の木端と木端をつなぐときやフラッシュドアの枠を作るときなどに使います。</p>	 <p>●アイクギ 頭部のないクギで、両端を打ちこむようになっていて板と板をつなぐときに使います。</p>	 <p>●ステープルワイヤーや有刺鉄線、金網、ラス張りなどに使われる、通称“またクギ”と呼ばれているクギです。</p>

## クギの上手な打ち方

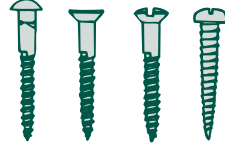






- 木工用のクギは、板の厚さより2.5~3.5倍のものを使います。(木口を打つときは3~4.5倍)
- 小さな木工の場合は、クギと一緒に木工用接着剤をつけると、強めに接合できます。
- 合板は割れやすいので、接着剤を主として、クギは補助的に細かいものを使います。

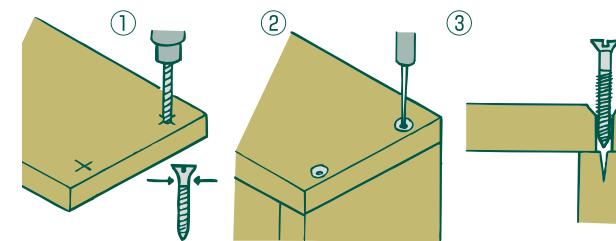


- 割れを防ぐために、硬い木や木口、木端近くにクギを打つ場合は必ずキリで下穴をあけてから打ちこんでください。
- クギは真っすぐに打ちこむより少し斜めにした方が接合力は強くなります。
- クギは一直線に並べ、等間隔になるように打ちます。

## ネジ

 <p>●丸木ネジ 上板が薄い場合に使われます。座金を使うとさらにしっかりとつけられます。</p> <p>●皿木ネジ 皿穴を掘って表面が平らになるように埋めます。あまりきつく締めると空回りしてきかなくなってしまう。</p> <p>●十文字木ネジ マイナスよりドライバーの落ち着きがいいので、あまり溝を傷めません。</p> <p>●丸平木ネジ ネジが最後まで切っただけなので、強めの接合ができます。しかしあまり強く締めると木が割れるおそれがあります。</p> <p>※左から組に</p>	<p>●タッピングネジ 下穴をあけ、ねじこんでいくとタッピングネジ自身がねじ切りの役目をして締めつけていくので、鉄板や鋳物、ステンレス、樹脂、アルミ等の接合に使われています。</p>
 <p>●小ネジ ナットと組になって使うネジで電気製品や椅子の組立などに使われます。</p>	 <p>●セルフドリリングネジ 銅板に下穴を自身であけながらタップ立てと締めつけが同時にできるネジで、建設や自動車、電気製品、钣金、造船などで使われます。</p>
 <p>●内装ビス 石膏ボードや長押、床板、化粧垂木などの取り付けに使います。</p>	 <p>●コーススレッド 施工中にすでに打ちこんだ部分が衝撃で浮き上がるクギ浮きや相手の木材の伸縮による板浮き、床の浮き上がりを防止するために使われています。</p>

## 木ネジの上手な使い方



- 木ネジはクギよりも接合する強度が強いので、箱ものを作るときは木ネジを使った方がいいでしょう。また壁面に棚をつけるときは板厚の2~3倍、木と木の接合の場合はネジが切っただけの部分の8分目ぐらいの長さがいいでしょう。必ずキリで下穴をあけてからネジこみましょう。
- ①取りつける穴にドリルで穴をあけます。
  - ②取りつける板を当てて、キリで下穴をあけます。
  - ③木ネジをドライバーでねじこんでいきます。